

報告第 11 号

株式会社野田自然共生ファームの経営状況の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、
株式会社野田自然共生ファームの令和7年度の決算に関する書類及び令和8年
度の事業の計画に関する書類を別添のとおり報告する。

令和8年6月10日提出

野田市長 鈴木 有

令和 7 年度 (第21期) 事業報告

令和 7 年度 (第21期) 決算報告

令和 8 年度 (第22期) 事業計画

令和 8 年度 (第22期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

第21期事業報告

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻生産と水田型市民農園を実施すると共に、自然環境保全管理、コウノトリ飼育及び飼育施設等の管理に取り組んで参りました。

船形地区においては、船形互助転作組合から農地を借用し、麦及び大豆を生産しました。

さらに、野田市堆肥センター運營業務、野田市農業人材育成事業、野田市木野崎農業構造改善センター施設管理業務、関宿落堀ビオトープ管理業務、小船橋水辺公園管理業務、尾崎地区保全業務等を行って参りました。

なお、農業経営については、効率的経営や品質向上に努め、安定経営を目指して参りました。

1 江川地区

現在でも圃場の大半が深田で作付けが困難な箇所もありましたが、引き続き圃場の再整備を図り、安定した収穫を目指しました。

(1) 圃場整備作業

水稻生産予定区域において、除草作業、水路の整備作業、土の搬入による均平整地作業や、イノシシに荒らされた箇所の修復作業等を実施しました。

(2) 水稻生産

令和7年度も減農薬による水稻栽培に取り組み、自然と共生する環境保全型農業を推進しました。

作付面積は4.5haで目標収穫量を10tとして水稻栽培を開始し、8月までは順調に生育しましたが、収穫前の悪天候で約0.2haが倒伏し、更にイノシシに踏み荒らされたことで約0.3ha、合わせて約0.5haからの収穫を断念したことで実質約4.0haからの収穫となりました。

令和7年度の総収穫量及び出荷米の数量は、下記のとおりです。

単位：kg

品 種	総収穫量	J A出荷米	市民農園等 配 布 米	一般販売	くず米
コシヒカリ	9,079	1等 2,310 2等 2,100	2,520	900	1,249

(3) 江川地区水田型市民農園

令和7年度の申込者数は315人で、自然豊かな谷津田景観の中で自然環境保護を優先したお米作りを体験して頂きました。

スタッフの指導で田植え、草取り、稲刈りを実施し、自然観察会、ホテル観察会、収穫祭を開催しました。猛暑の中で開催したイベントもありましたが、開催時間の短縮など、熱中症対策を徹底して参加者の安全を最優先に運営しました。

いずれも怪我や事故、体調不良者もなく、参加者の好評を得て全イベントを無事に終了しました。

令和7年度の結果は、下記のとおりです。

単位：人

募集タイプ イベント	ファミリー型	オーナー型	参加者合計
田植え 4月27日（日）	127	164	291
草取りと自然観察会 6月22日（日）	84	118	202
ホタル観察会 7月13日（日）	100	105	205
稲刈り 8月24日（日）	91	141	232
収穫祭 10月19日（日）	107	129	236

（４）エコロジカル・ネットワークへの取組

コウノトリ野生復帰保全計画を支援するため、魚道の整備や池の水辺だしによる生ものの生息域の確保を図りました。

更には、休耕地の除草等を実施し、江川地区の里山の保全に努めました。

なお、野田市と連携し、6月1日（日）には新潟大学の関東エコロジカル・ネットワーク学外学習、6月5日（木）～6日（金）には「田んぼの学校」指導者養成研修 in 千葉の開催地として協力し、全国からの参加者に農業と自然の共生した地域づくりについて紹介し、大きな成果を上げることが出来ました。

（５）農業体験学習等への協力

1）地元小学校の農業体験学習

野田市立福田第一・第二小学校5年生の農業体験として、5月8日（木）に田植え、7月8日（火）に稲の生育観察会及び生きもの観察、9月9日（火）に稲刈りの体験学習に協力しました。

2）学校法人野田鎌田学園米作り実習体験

米作りを通じて自然に親しみ、農業の大切さを学ぶための実習体験として、4月30日（水）に田植え、6月17日（火）に草取り、9月2日（火）には稲刈りを行い、野田鎌田学園2年生150人の実習体験に協力しました。

（６）江川地区自然環境保全管理業務

江川地区の自然に配慮した水田の維持管理作業、自然環境に配慮した水稻栽培を実施すると共に、保全樹林地の倒木処理や不法投棄の見回りと回収、休耕地や農道、あぜ道の草刈りを行い、自然環境保全に努めました。

なお、近年、江川地区にもイノシシが出現していることから、生息域を狭くするため休耕地（ヨシ原）の除草作業を行い、野田市や猟友会と連携して捕獲などに協力するとともに、市や土地改良区が主催する有害鳥獣対策の講習会等にも積極的に参加しました。

(7) 江川地区が「自然共生サイト」に認定

9月16日に江川地区が環境省の「自然共生サイト」に認定されました。

自然共生サイトとは、「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」に基づき、「民間等の取組によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が「共生サイト」として認定するもので、江川地区における国の天然記念物のコウノトリの飼育・繁殖・放鳥の実施や水田型市民農園のほか、地域の多様な主体と連携して、見守り活動や豊かな自然環境を活用したイベント、調査等の取組が評価されました。

なお、江川地区は、野田市がとりまとめ役として多様な主体と連携して行う「連携増進活動実施計画」として認定されました。

2 船形地区

(1) 農業生産

船形互助転作組合より、集団転作事業に基づくブロックローテーションの農地と固定団地の農地を借用し、麦と大豆を生産しました。

1) 麦生産

令和7年産の麦は、5月から6月にかけて刈り取り作業を行いました。

麦の品種、作付面積及び出荷量、種子更新分の状況は下記のとおりです。

単位：kg

区 分		J A出荷		種子更新分	合 計
品 種	作付面積				
大麦（カシマムギ）	9.9ha	1 等	51,780	1,000	52,780
小麦（さとのそら）	50.2ha	1 等	204,000	4,000	232,150
		2 等	24,150		
合 計	60.1ha		279,930	5,000	284,930

2) 大豆生産

令和7年度の大豆は、7月の播種後に雑草抑制のため除草剤の散布や、生育管理のため殺菌剤・殺虫剤の散布を行い、11月下旬から12月中旬に収穫しました。

大豆の品種、作付面積及び出荷量、種子更新分の状況は下記のとおりです。

単位：kg

区 分		J A出荷		直売用	種子更新分	合 計
品 種	作付面積					
そらみずき	0.5ha	1 等	1,320		210	1,530
サチュタカ	10.0ha	2 等	3,300		360	10,290
		3 等	4,500			
		特定加工	2,130			
フクユタカ	20.0ha	1 等	17,550	1,500	1,290	38,490
		2 等	13,770			
		特定加工	4,380			
里のほほえみ	15.5ha	3 等	13,950	600	720	22,110
		特定加工	6,840			
合 計	46.0ha		67,740	2,100	2,580	72,420

(2) 農業生産調整

船形互助転作組合より、令和8年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーションの農地と固定団地約62.3haの農地を借用し、11月から12月にかけて麦を播種しました。

(3) 枝豆オーナー制度

令和7年度は、5月上中旬に播種を行い、7月14日（月）から8月13日（水）にかけて、11組のオーナーが22区画で収穫作業を実施しました。

3 農業関係施設の運営事業

(1) 野田市堆肥センター運營業務

廃棄物の発生抑制と再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産しました。

また、もみ殻牛ふん堆肥や剪定枝等堆肥の運搬散布を行い、野田市独自の有機堆肥を使って生産した農産物のブランド化を推進しました。

更に、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、もみ殻SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）加工作業を実施しましたが、需要量の減少や物価の高騰等により、安定した価格での供給が困難となったことから、令和8年1月14日の「令和7年度野田市畜産クラスター推進協議会通常総会」において、令和8年度におけるもみ殻SGS製造休止が決定されました。

1) 搬入量

- ①剪定枝、刈草、落葉搬入量…………… 約 2,912t（前年度比－233t）
- ②もみ殻回収量…………… 約 754t（前年度比 ＋32t）

2) 搬出・運搬量

- ①剪定枝等堆肥の搬出量…………… 約 774t（前年度比－101t）
- ②もみ殻牛ふん堆肥の運搬量…………… 約 631t（前年度比－155t）

3) 飼料用米粉砕加工（SGS）

- ①多収性品種米（加工量）…………… 約 130t（前年度比－33t）
- ②一般品種米（加工量）…………… 0t（前年度比 ±0t）

(2) 野田市木野崎農業構造改善センター施設管理業務

本社機能を有する野田市木野崎農業構造改善センターについて、野田市から施設管理業務を受託し、適切に施設管理を行いました。

令和7年度の施設の利用状況は、134件、1,161名で、主に地元自治会の会合や味噌づくり等に利用されました。（前年度比－3件、－181名）

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を図るため、以下の業務を実施しました。

園内の管理	受託面積 約 1.3 ha
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年 4 回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年 1 回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週 1 回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週 1 回実施

(2) はきだし沼周辺田の整地業務

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため、年 2 回の除草作業及び 1 回の整地作業を実施しました。

(3) 関宿落堀ビオトープ管理業務

関宿落堀の良好な自然環境を維持するため、年 4 回の除草作業及び月 1 回の見回りとごみ拾いを実施しました。

(4) 尾崎地区保全業務

生物多様性の保全された良好な自然環境を回復させるため、11月下旬に除草作業と不法投棄物の回収を行いました。

5 コウノトリ飼育及び飼育施設等管理業務

野田市が生物多様性のシンボルとして位置づけているコウノトリについて、コウノトリ飼育及び飼育施設等管理業務を受託し、飼育管理を行うと共に、飼育施設の管理、視察や見学者の対応、グッズの販売、放鳥個体の採餌環境整備などを行いました。

(1) 飼育

飼育個体にあわせ適切な管理に努め、異常が確認された個体は、獣医師の診察のもとで投薬を開始し、治療を行いました。

令和 5 年から多摩動物公園に依頼していたメスの個体（ミライ）のペアリングが成立したことから、令和 7 年 10 月には、オスの個体（カナタ）と共に飼育を開始し、飼育開始に伴い、飼育個体のケージ移動、施設の整備、臨時休館等の対応を行いました。

また、高病原性鳥インフルエンザ対策については、令和 7 年 6 月に環境省の対応レベルが引き下げられたことから、警戒態勢を解除しました。

なお、10月に北海道で発生が確認された以降は、「飼育下コウノトリの高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)発生時における予防対応マニュアル」に従い対策を行いました。

(2) 繁殖

令和 7 年 10 月から飼育を開始した新規の飼育ペア（ミライ、カナタ）は、令和 8 年 3 月に交尾が確認されたため、巣材の投入を行い産卵に備えています。

また、野外ペア（ヤマト、ひなた）は3月に産卵を確認しましたが、カラスの影響により第1クラッチは繁殖に失敗しましたので、引き続き今後の産卵に期待し見守りを継続しています。

（３）来館者

こうのとりの里観察棟は、施設の整備、新規ペアの順化のため、令和7年10月27日（月）から休館としましたが、令和7年11月13日（木）より一般公開を再開しました。

令和7年度の入場者数（来館名簿記入者）は5, 261名で、前年度より168名減少しました。

（４）その他

令和7年5月には、栃木県小山市、茨城県神栖市、茨城県水戸市、6月には茨城県行方市の野外繁殖した幼鳥の足環装着に協力しました。

また、年間を通じてSNSを活用した情報発信を行うと共に、令和7年11月には「ジャパン・バード・フェスティバル2025」と「コウノトリまつり2025」、令和8年3月には「世界野生生物の日」のイベントに参加し、野田市の取組の紹介やグッズ販売を行いました。

なお、引き続き野田市の「飼育下コウノトリの高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)発生時における予防対応マニュアル」の更新に向け、野田市と協議調整を進めています。

6 農業人材育成事業

（１）主な取組

新規就農希望者に対して、野菜の栽培方法等について指導しました。

具体的には、人参、枝豆、ブロッコリー、玉ネギ等を栽培し、総収量16, 247.5kgを市場及び直売所へ出荷しました。

令和7年度の就農希望者は延べ6名でしたが、3月末には新規就農予定者1名を送り出しました。

また、試験的に実施している有機農業の鶴奉地先の圃場には、4月にもみ殻牛ふん堆肥を散布し、8月には太陽熱土壌消毒を実施、9月には秋ジャガイモを定植し12月に収穫しました。収穫出来たジャガイモは、市内一部の中学校給食の食材に活用していただきました。

なお、令和8年3月には人参の播種と、ジャガイモの定植を実施しました。

(2) 年間収穫一覧

令和7年度の年間収穫量は、下記のとおりです。

単位：kg

四半期毎 品種	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合 計
人 参	4,703.5	600.0	—	4,840.5	10,144.0
枝 豆	284.4	117.9	47.7	—	450.0
玉 ネ ギ	817.0	78.0	—	—	895.0
ブロッコリー	318.3	—	384.5	3,714.0	4,416.8
大 根	30.0	—	—	—	30.0
カ ブ	90.0	—	—	—	90.0
ズッキーニ	7.2	—	—	—	7.2
ナ ス	—	174.5	8.5	—	183.0
ジャガイモ	—	—	24.0	—	24.0
サツマイモ	—	—	7.5	—	7.5
合 計	6,250.4	970.4	472.2	8,554.5	16,247.5

7 補助金関係等

単位：円

交付団体等	名 称	摘 要	金 額
関東農政局	畑作物の直接支払交付金	麦の作付面積に対する交付金	11,482,000
		大豆の作付面積に対する交付金	8,684,000
		麦の生産量と品質に対する交付金	12,117,646
		大豆の生産量と品質に対する交付金	2,303,615
	水田活用直接支払交付金	水田を活用した麦や大豆等を生産する農業者への支援	28,689,640
千 葉 県	大規模ブロックローテーション促進事業補助金	麦・大豆等の作付推進に対する補助金	5,969,000
	千葉県肥料価格高騰緊急支援事業給付金	肥料価格の高騰による農業者の負担を軽減するために設けられた交付金	100,000
野 田 市 (野田市農業再生協議会)	転作定着化促進事業補助金	継続した転作作物の作付の奨励を目的とした補助金	217,000
野 田 市 (野田市農業資材対策協議会)	病虫害防除薬剤購入費補助金交付金 ※ R6 年度分も含む	農業者が病虫害の防除対策として使用する薬剤の購入費を一部補助する交付金	7,337,000
千葉県農業共済組合 (東葛飾植物防疫協会)	損害防止事業交付金	農業共済に加入している散布圃場に対する交付金	100,800
合 計			77,000,701

※R6 年度 3,687,700 円 R7 年度 3,649,300 円

8 取締役及び他の役員（第21期 令和7年度）

区 分	氏 名	備 考
代 表 取 締 役	今 村 繁	野田市副市長
専 務 取 締 役	菅 野 透	
取 締 役	川 路 隆 之	野田市建設局長
取 締 役	宇田川 克 巳	野田市自然経済推進部長
取 締 役	内 藤 浩 幸	
取 締 役	永 井 盛 雄	江川事業所長
取 締 役	大 塚 正 和	船形事業所長・農業人材育成事業所長
会 計 参 与	秋 葉 芳 秀	税理士
監 査 役	濱 田 宏 志	税理士

9 株式の状況（令和8年3月31日現在）

（1）株主数 5名

（2）株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
千葉県野田市	6, 206株	99.9195%
菅 野 透	2株	0.0322%
内 藤 浩 幸	1株	0.0161%
永 井 盛 雄	1株	0.0161%
大 塚 正 和	1株	0.0161%
合 計	6, 211株	100%

10 経過概要

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの主な経過概要

月 日	曜日	第 1 四 半 期 の 主 な 経 過 概 要
4 月 1 日	火	内藤浩幸氏 取締役就任
4 月 2 日	水	船形事業所の豆菓子製造委託に関する現地視察研修【～3日（木）】 ＊福島県郡山市、新潟県小千谷市
4 月 8 日	火	新入者安全衛生教育講座受講（新規採用者2名）
4 月 10 日	木	4月定例ミーティング
4 月 16 日	水	第3回野田市有機農業研究会出席
4 月 18 日	金	中央小学校校外学習協力（田んぼの生き物・こうのとりの里） ＊合計4回 4/18（金）、4/22（火）、4/23（水）、4/25（金）
4 月 22 日	火	熊本県玉名市議会議員視察研修協力（堆肥センター）
4 月 26 日	土	野田自然保護連合会2025第1回春の自然観察会協力
4 月 27 日	日	江川地区水田型市民農園①【田植え：参加者291名】
4 月 30 日	水	学校法人野田鎌田学園 米作り実習「田植え」協力
5 月 8 日	木	茨城県神栖市 野外繁殖コウノトリ幼鳥足環装着協力 福一、福二小学校合同フィールドワーク「田植え」協力
5 月 9 日	金	栃木県小山市 野外繁殖コウノトリ幼鳥足環装着協力
5 月 14 日	水	5月定例ミーティング
5 月 16 日	金	JA ちば東葛 令和7年度第一回大規模営農組織協議会出席
5 月 18 日	日	自然保護団体合同視察研修参加
5 月 21 日	水	茨城県水戸市 野外繁殖コウノトリ幼鳥足環装着協力
5 月 23 日	金	令和7年度農産物加工推進協議会総会出席 定時取締役会
5 月 24 日	土	ゆめあぐり野田 令和7年度通常総会出席 SDGs エコ作戦「アメリカザリガニ捕獲大作戦」協力
5 月 29 日	木	定時株主総会
6 月 1 日	日	新潟大学 関東エコロジカル・ネットワーク学外実習協力
6 月 3 日	火	茨城県行方市 野外繁殖コウノトリ幼鳥足環装着協力 新規操縦者ドローン研修受講①
6 月 5 日	木	令和7年度「田んぼの学校」指導者養成研修 in 千葉協力【～6日（金）】
6 月 6 日	金	第18回コウノトリと共生する推進協議会総会出席
6 月 8 日	日	SDGs エコツアー こうのとりの里施設見学協力
6 月 9 日	月	安全週間事前説明会並びに講演会出席
6 月 10 日	火	IPPM-OWS 野外巢内雛の足環装着に関する研修参加 【兵庫県コウノトリの郷公園～11日（水）】
6 月 11 日	水	高病原性鳥インフルエンザ警戒体制解除
6 月 12 日	木	6月定例ミーティング 社会保険制度説明会出席
6 月 17 日	火	学校法人野田鎌田学園 米作り実習「草取り」協力
6 月 22 日	日	江川地区水田型市民農園②【草取りと自然観察会：参加者202名】
6 月 25 日	水	千葉北西連絡道路に関するヒアリング出席
6 月 30 日	月	コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム令和7年度担当者会議協力

月 日	曜日	第 2 四 半 期 の 主 な 経 過 概 要
7 月 1 日	火	消防本部新規操縦者ドローン研修参加 小麦検査
7 月 2 日	水	部下指導の考え方・進め方研修受講【～4 日（金）】
7 月 5 日	土	熱中症予防安全衛生教育管理者研修受講
7 月 6 日	日	「エコネット生きものの調査体験会」協力
7 月 7 日	月	栃木県芳賀郡市貝町職員及び関係者視察研修協力
7 月 8 日	火	福一、福二小合同フィールドワーク「稲の観察と生きものの観察」協力
7 月 13 日	日	江川地区水田型市民農園③【ホテル観察会：参加者 205 名】
7 月 15 日	火	7 月定例ミーティング 福二小ドライフラワー募金贈呈式出席
7 月 19 日	土	SDGs エコ大作戦「野外コウノトリのエサ場の整備」協力
7 月 23 日	水	千葉県香取郡市土地改良協議会視察研修協力
7 月 24 日	木	第 20 回地域づくりネットワーク連絡会出席
7 月 30 日	水	普通救命講習会①（受講者 16 名）
7 月 31 日	木	東京大学大学院フィールド科学総論・生物多様性科学実習協力
8 月 2 日	土	野田自然保護連合会 2025 第 2 回夏の自然観察会協力
8 月 7 日	木	SGS 加工作業開始【～8/23 までの 9 日間、日曜祝日及び 8/12～/16 除く】
8 月 8 日	金	普通救命講習会②（受講者 10 名） 8 月定例ミーティング
8 月 17 日	日	こうのとりフェス協力
8 月 20 日	水	インターンシップ大学生 2 名受入、令和 7 年産米集荷説明会出席
8 月 21 日	木	もみ殻回収開始
8 月 24 日	日	江川地区水田型市民農園④【稲刈り：参加者 232 名】
8 月 26 日	火	令和 7 年度安全運転管理者法定講習会受講 野田市自然体験プログラム「魅力体験ツアー①」協力
8 月 31 日	日	木野崎農業構造改善センター避難所開設訓練協力 野田市自然体験プログラム「魅力体験ツアー②」協力
9 月 1 日	月	全国労働衛生週間説明会並びに講演会出席
9 月 2 日	火	学校法人野田鎌田学園 米作り実習「稲刈り」協力
9 月 3 日	水	第 32 回コウノトリの保全に関する勉強会
9 月 6 日	土	西武台千葉高校学園祭野菜出品協力 野田市自然体験プログラム「魅力体験ツアー③」協力
9 月 9 日	火	福一、福二小合同フィールドワーク「稲刈り」協力
9 月 11 日	木	事業主のためのハローワーク活用セミナー参加
9 月 12 日	金	情報セキュリティ研修【受講者 13 名】 9 月定例ミーティング
9 月 25 日	木	福田中学校出前授業
9 月 28 日	日	タカの渡り協力
9 月 30 日	火	自然共生サイト認定式出席

月 日	曜日	第 3 四 半 期 の 主 な 経 過 概 要
10 月 1 日	水	栃木県小山市寒川小学校こうのとりの里訪問
10 月 4 日	土	福田中学校フィールドワーク協力
10 月 6 日	月	令和 7 年度第二回大規模営農組織協議会出席
10 月 8 日	水	10 月定例ミーティング
10 月 11 日	土	東武健康ハイキング協力【～12 日（日）】
10 月 15 日	水	S G S 事業会議出席
10 月 17 日	金	栃木県真岡市と塩谷郡高根沢町堆肥センター視察参加
10 月 19 日	日	江川地区水田型市民農園⑤【収穫祭：参加者 2 3 6 名】 柏の葉ウオーキングフェスタ協力
10 月 23 日	木	「リワークフォーラム」Zoom 受講 若手社員対象「フォローアップセミナー」Zoom 受講
10 月 24 日	金	第 50 回 JA グループ千葉農業機械大展示会見学
10 月 26 日	日	女性のための就農支援セミナー＆相談会①参加
10 月 27 日	月	コウノトリ捕獲・健康診断 こうのとりの里臨時休館
10 月 30 日	木	コウノトリのミライとカナタの 2 羽を多摩動物公園から受入れ
11 月 1 日	土	野田自然保護連合会 2025 第 3 回秋の自然観察会協力 「ジャパンバードフェスティバル 2025」グッズ販売【～2 日（日）】
11 月 4 日	火	2025IPPM-OWS 域外作業部会会議・域外研修参加【～5 日（水）】 枝豆オーナー制度反省会議出席
11 月 5 日	水	11 月定例ミーティング
11 月 7 日	金	福島県土地改良事業団体連合会いわき支部視察協力 船橋法典高校 PTA 視察研修協力
11 月 13 日	木	こうのとりの里再開
11 月 14 日	金	トキタ種苗大利根研究農場オープンデー見学
11 月 15 日	土	「こうのとりのまつり in ブーラシア」グッズ販売【～16 日（日）】
11 月 16 日	日	千葉大学大学院園芸学部野外実習協力
11 月 26 日	水	関東農政局「農業雇用管理セミナー」Zoom 受講
11 月 28 日	金	定時取締役会
11 月 29 日	土	西武台千葉中学校出前授業協力
12 月 2 日	火	鳥獣捕獲技術研修受講
12 月 6 日	土	野田の魅力発見ツアー＜南部コース＞協力
12 月 9 日	火	12 月定例ミーティング
12 月 10 日	水	飼育コウノトリ 3 羽健康診断 江川地区イノシシ対策会議出席 「農家のための職場のコミュニケーション力向上セミナー」Zoom 受講
12 月 11 日	木	令和 7 年度田園再生活動の集い参加
12 月 12 日	金	労務管理セミナー参加
12 月 13 日	土	稲わら細工講習会協力 女性のための就農支援セミナー＆相談会②参加
12 月 22 日	月	東京電力こうのとりの里見守りカメラ移設立合協力
12 月 23 日	火	大豆検査
12 月 25 日	木	令和 7 年度船形互助転作組合総会出席

月 日	曜日	第 4 四 半 期 の 主 な 経 過 概 要
1 月 8 日	木	1 月定例ミーティング
1 月 14 日	水	令和 7 年度野田市畜産クラスター推進協議会通常総会出席
1 月 18 日	日	市内農家からの廃プラ回収協力
1 月 20 日	火	栃木県小山市寒川小と福一・福二小とのオンライン交流学习協力 「ハラスメント対策のポイント」Zoom セミナー受講
1 月 23 日	金	江川地区イノシシ対策会議出席
1 月 24 日	土	SDG2 エコ作戦「湿地のクリーン大作戦—in 小船橋水辺公園」参加協力
1 月 27 日	火	メンタルヘルス講演会受講 サイバーセキュリティ対策 Web セミナー受講
1 月 28 日	水	IPPM-OWS 令和 8 年度卵移動に向けた打合せ会議出席
1 月 30 日	金	「自然共生サイト」事例紹介取材協力【～31 日（日）】
1 月 31 日	土	野田自然保護連合会第 3 回自然観察会協力 女性のための就農支援セミナー&相談会③参加
2 月 2 日	月	令和 8 年度江川地区水田型市民農園参加者募集開始【～3 月 31 日】
2 月 3 日	火	船橋市議会行政視察協力【こうのとりの里】 令和 8 年度えだまめオーナー制度実施計画会議出席
2 月 5 日	木	東京薬科大学よりインターンシップ受入【～10 日（火）】
2 月 6 日	金	千葉県野鳥の会「探鳥会」協力
2 月 7 日	土	「現代農業講演会」関東甲信越北陸支部読者のつどい参加
2 月 10 日	火	2 月定例ミーティング 令和 7 年度 JA ちば東葛大規模営農組織第 3 回協議会出席
2 月 12 日	木	労務管理講習会参加 水稻栽培講習会参加
2 月 19 日	木	第 13 回コウノトリの保全に関する有識者会議出席
2 月 25 日	水	「ありがとう！コウくん&コウちゃん展」展示協力【～3 月 29 日（日）】
2 月 26 日	木	熊谷市妻沼農業青年会議先進地視察研修協力
2 月 28 日	土	IPPM-OWS 有精卵調整会議出席 ミュージアムパーク茨城県自然博物館「第 94 回企画展」オープニングセレモニー&内覧会出席
3 月 2 日	月	メンタルヘルス等に関する社内研修会①実施
3 月 3 日	火	令和 7 年度農産物加工推進協議会視察研修会参加
3 月 4 日	水	メンタルヘルス等に関する社内研修会②実施
3 月 7 日	土	「世界野生生物の日」イベント出店（グッズ販売）【～8 日（日）】
3 月 10 日	火	定例ミーティング
3 月 12 日	木	内定者研修 Zoom 受講（令和 8 年 3 月新規採用者他）
3 月 13 日	金	令和 7 年度 GAP 推進産地研修会参加 職場で活かせるコミュニケーションセミナー受講
3 月 23 日	月	IPPM-OWS 有精卵移送調整会議出席
3 月 26 日	木	定時取締役会
3 月 28 日	土	コウノトリ巣づくり体験会協力
3 月 31 日	火	川路隆之取締役、宇田川克巳取締役、永井盛雄取締役兼江川事業所長退任

第 2 1 期

決 算 報 告 書

令 和 7 年 4 月 1 日 から

令 和 8 年 3 月 3 1 日 まで

株 式 会 社 野 田 自 然 共 生 フ ァ ー ム
(法 人 番 号 :5040001072121)

貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 今村 繁

令和 8年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流動資産	(124,041,804)	I 流動負債	(47,725,308)
現金及び預金	93,457,101	未払金	9,306,376
売掛金	198,961	未払費用	4,104,205
棚卸資産	18,571,228	未払法人税等	322,000
前払費用	205,677	未払消費税	3,071,600
前払収入	647,136	未払受金	28,150,052
未立貸倒引当金	10,587,083	賞与引当金	327,075
	437,518		2,444,000
	△ 62,900		
II 固定資産	(212,333,409)	II 固定負債	(10,787,500)
有形固定資産	(211,092,958)	長期未払金	4,447,500
建物	19,630,634	退職給付引当金	6,340,000
構築物	747,559		
機械及び装置	12,867,078		
車両運搬具	12		
工具、器具及び備品	185,627		
建物附属設備	1,543,803		
土地	176,118,245		
無形固定資産	(50,000)		
保証	50,000		
投資その他の資産	(1,190,451)	負債の部合計	58,512,808
出資	10,000	(純資産の部)	
保険積立金	1,089,971	I 株主資本	(277,862,405)
敷金・入会金	10,000	1. 資本	100,000,000
長期前払費用	80,480	2. 資本剰余金	(183,032,296)
		(1) 資本準備金	155,275,000
		(2) その他資本剰余金	(27,757,296)
		3. 利益剰余金	(△ 5,169,891)
		(1) その他利益剰余金	(-5,169,891)
		繰越利益剰余金	△ 5,169,891
III 繰延資産	(0)	II 評価・換算差額等	(0)
		III 新株予約権	(0)
資産の部合計	336,375,213	純資産の部合計	277,862,405
		負債・純資産の部合計	336,375,213

損 益 計 算 書

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

令和 7 年 4 月 1 日 から
令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 売 上 高			
農 産 物 売 上 高	20,548,988		
業 務 受 託 収 入	156,225,427		
市 民 農 園 収 入	2,013,355		
作 付 助 成 金 ・ 交 付 金 収 入	69,245,901	248,033,671	248,033,671
II 売 上 原 価			
期 首 棚 卸 高		81,915	
市 場 等 出 荷 販 売 手 数 料	687,423	687,423	
当 期 製 品 製 造 原 価		214,684,048	
合 計		215,453,386	
期 末 棚 卸 高		233,118	
売 上 総 利 益			215,220,268
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		58,376,067	58,376,067
営 業 損 失			25,562,664
IV 営 業 外 収 益			
受 取 補 助 金 収 入		83,893	
一 般 引 当 金 戻 入		7,754,800	
諸 引 取 配 当 金 入		69,900	
雑 収		100	
		14,516,158	22,424,851
V 営 業 外 費 用 失			
雑 損		100	100
経 常 損 失			3,137,913
VI 特 別 利 益		0	0
VII 特 別 損 失			
固 定 資 産 売 却 除 却 損		138,663	138,663
税 引 前 当 期 純 損 失			3,276,576
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		334,854	334,854
当 期 純 損 失			3,611,430

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7 年 4 月 1 日 から
令和 8 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
旅 費	61,231
広 告 宣 伝 費	493,874
発 送 配 達 費	18,724
イ ベ ン ト 費 用	534,713
役 員 報 酬	12,218,400
事 務 員 給 与	19,893,169
従 業 員 賞 与	2,473,000
法 定 福 利 費	6,450,672
厚 生 費	1,360,714
退 職 金	480,000
減 価 償 却 費	46,978
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	2,850,240
修 繕 費	121,140
事 務 用 消 耗 品 費	1,979,403
通 信 費	2,529,729
水 道 光 熱 費	378,695
租 税 公 課	354,991
接 待 交 際 費	19,118
保 険 料	120
備 品 消 耗 品 費	1,810,704
管 理 諸 費	2,868,552
一 般 車 両 関 係 費	237,535
函 書 費 ・ 研 修 費	123,201
交 通 費	643,758
貸 倒 償 却 費	62,900
雑 費	364,506
合 計	58,376,067

棚卸資産の計算内訳

令和 8 年 3 月 31 日 現 在

(単位:円)

科 目	金 額
農 産 物	233,118
原 材 料	758,160
未 収 穫 農 産 物	11,898,628
貯 蔵 品	5,681,322
合 計	18,571,228

製 造 原 価 報 告 書

令和 7 年 4 月 1 日 から
令和 8 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目		金 額
I 材 料 費		
期首材料棚卸高		659,114
種 苗 費		787,909
合 計		1,447,023
期末材料棚卸高		758,160
当期材料費		688,863
II 労 務 費		
賃 金		78,858,466
賞 与		10,234,200
退 職 金		564,000
法定福利費		13,923,746
厚生費		2,526,314
当期労務費		106,106,726
III 経 費		
肥料費・農薬衛生費		12,152,641
電力費		3,336,802
軽灯油等燃料費		11,644,616
運賃		448,074
減価償却費		9,410,247
修繕費		22,626,507
租税公課・負担金		914,200
賃借料・リース料		22,790,874
共済掛金・保険料		1,702,192
諸 資 材 費		9,234,404
農 具 費		1,063,160
交 通 費		2,065,690
図書費・研修費		828,353
車両関係費		2,878,735
土地改良費・水利費		2,079,231
雑 費		3,680,290
当期経費		106,856,016
当期総製造費用		213,651,605
期首農産物等棚卸高		12,931,071
合 計		226,582,676
期末農産物等棚卸高		11,898,628
当期製品製造原価		214,684,048

第22期（令和8年度）事業計画（案）

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻の生産を行うと共に、自然環境保全に努めて参ります。

また、水田型市民農園は引き続き開催しますが、開催方法等についても検討して参ります。

船形地区においては、引き続き麦及び大豆の生産・販売、小船橋水辺公園の管理業務等を行って参ります。

農業人材育成事業所においては、人参、枝豆等を中心とした野菜の生産・販売の実務研修を行うと共に、有機農業の推進に努めて参ります。

更に、野田市からの受託事業として、野田市堆肥センター運営業務、コウノトリ飼育及び施設等管理業務、木野崎農業構造改善センター運営管理業務等の管理業務を行って参ります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定経営を目指して参ります。

1 江川地区の農業事業

令和8年度からは、暑さ対策等により稲の品種を「コシヒカリ」から「ふさこがね」に変更します。

現在でも圃場の含水率が高く作付けが困難な状況ですが、引き続き圃場の再整備を図り安定した収穫を目指して参ります。

（1）圃場整備作業

水稻生産予定区域において、圃場整備作業を実施します。

1) 作業内容 除草作業、水路の整備作業、均平整地作業、畦畔整備作業等

（2）水稻生産

1) 品 種 ふさこがね
2) 生産目標面積 約 4.5ヘクタール（市民農園圃場含む）
3) 目標収穫量 約 10トン

（3）水田型市民農園の実施

1) 面 積 約 1.0ヘクタール
2) 募集人数 約 300名
3) 利用料金 大人（高校生以上又は16歳以上） 5,500円（税込）
子供（4歳以上中学生まで） 3,300円（税込）
3歳以下 無料
4) イベント 年間5回 「田植え」「草取りと自然観察会」
「ホタル観察会」「稲刈り」「収穫祭」
5) 配付米 大人：玄米5kg 子供：玄米3kg

(4) エコロジカル・ネットワークへの取組み

- 1) コウノトリ野生復帰計画への全面的協力
- 2) 水路整備（魚道整備含む）
- 3) 里地里山の保全
- 4) 関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会等との連携協力

(5) 江川地区自然環境保全管理業務

江川地区自然環境保護対策基本計画書及び第2期生物多様性の戦略に基づき、生物多様性が保全された江川地区を将来にわたり維持し、江川地区の里地・里山を良好に保全管理するため、引き続き必要な業務を行おうとするものです。

なお、近年、イノシシの掘り返し等の痕跡が地区内に多く出現するようになったことから、野田市や猟友会と連携し、引き続き捕獲等の対策を講じて参ります。

(6) 学校法人野田鎌田学園米作り実習体験

令和7年度に引き続き、令和8年度も食育授業の一環として江川地区の水田を利用した「田植え」、「草取り」、「稲刈り」の体験実習に協力します。

現時点の概要は以下のとおりです。

- 1) 参加人数 生徒150名、教員7名
- 2) 利用面積 0.25ヘクタール
- 3) 実施日

○田植え	令和8年4月30日（木）	予備日5月 1日（金）
○草取り	令和8年6月17日（水）	予備日6月18日（木）
○稲刈り	令和8年9月 2日（水）	予備日9月 3日（木）

2 船形地区の農業事業

(1) 麦及び大豆の生産

引き続き、船形互助転作組合から水田を借地し、麦及び大豆の生産を行います。

生産にあたっては、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受け、栽培基準に基づき適正に作業管理を行うと共に、様々な研修等を通して栽培技術の向上、品質及び収穫量の向上に努めて参ります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年2回
研修会	社内外研修会	年4回程度
令和8年産麦生産目標 (令和8年6月収穫予定)	作付面積 大麦(カシマムギ) 小麦(さとのそら) 目標収穫量 大麦 小麦	62.3ha 10.1ha 52.2ha 238t 40t 198t
令和9年産麦生産目標 (令和8年11月播種予定)	作付面積 大麦(カシマムギ) 小麦(さとのそら)	73.0ha 15.0ha 58.0ha
令和8年産大豆生産目標 (令和8年7月播種予定) (令和8年12月収穫予定)	作付面積 目標収穫量	40.0ha 69.0t

(2) 枝豆オーナー制度

野田市農産物ブランド化推進協議会からの開設依頼により、引き続き枝豆オーナー制度に係わる農園を継続開設しようとするものです。

3 農業関係施設の運営業務

(1) 野田市堆肥センター運営業務

廃棄物を抑制し、再利用を促進するために剪定枝や落葉などの資源を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することで、付加価値の高い農産物の生産を図ることを目的に設置された野田市堆肥センターについて、引き続き適切な施設管理を行って参ります。

なお、野田市畜産クラスター推進協議会が実施するもみ米SGS(ソフト・グレイン・サイレージ)加工作業は、米代をはじめとする諸物価の高騰により、安定した価格での供給が困難になったため、当面の間、加工作業は休止することになりました。

(2) 野田市木野崎農業構造改善センター施設管理業務

引き続き、施設管理業務仕様書に基づき、適切に施設管理業務を受託しようとするものです。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設を維持するため、引き続き受託しようとするものです。

(2) はきだし沼周辺田の整地業務

希少生物の保護を図るため、引き続き受託しようとするものです。

(3) 関宿落堀ビオトープ管理業務

関宿落堀の良好な自然環境を維持するため、引き続き受託しようとするものです。

(4) 尾崎地区保全業務

尾崎地区の良好な自然環境を維持して生物多様性を保全するため、引き続き受託しようとするものです。

5 コウノトリ飼育及び飼育施設等管理業務

令和8年度は、飼育ペア（ミライとカナタ）が繁殖に成功した場合には、野外ペア（ヤマトとヒナタ）の繁殖状況を考慮しながら幼鳥の放鳥を目指し、引き続き飼育個体の適切な飼育管理に努めて参ります。

なお、餌生物の調査や、草地または水辺環境の整備も継続し、施設の展示の充実と来館者への解説を通して、コウノトリの生息環境や生態についての普及啓発に努めて参ります。

6 農業人材育成事業

基幹作物としては、人参と枝豆に加えて令和6年度から取り入れたブロッコリーを中心とした栽培を実施する計画で進めて参ります。

また、基幹作物以外に就農希望者自ら栽培したい作物も積極的に取り入れ、新規就農に向けた指導を行って参ります。

なお、有機農業については、「野田市有機農業研究会」や、有機農業の指導者等から指導助言を受けながら実践圃場での栽培を継続し、野田市と連携を図りながら有機農業の推進を図って参ります。

第22期 予算(案)

自 令和 8年 4月 1日

至 令和 9年 3月31日 単位:千円

収入				支出			
項目	予算額			項目	予算額		
	第21期	第22期	比較		第21期	第22期	比較
1 農業生産売上	50,041	47,250	-2,791	1 農業製造原価	255,475	252,948	-2,527
(1) 水稻売上	2,000	3,000	1,000	(1) 材料費	504	750	246
(2) 麦売上	5,000	3,000	-2,000	(2) 労務費	41,497	40,293	-1,204
(3) 大豆売上	7,000	7,000	0	(3) 農業経費	60,780	54,523	-6,257
(4) 市民農園売上/枝豆売上	3,221	1,430	-1,791	① 肥料費・農薬衛生費	22,865	17,928	-4,937
(5) 経営所得安定対策等(国)	32,820	32,820	0	② 電力費	1,573	1,220	-353
2 農業受託売上	170,964	173,832	2,868	③ 軽灯油等燃料費	4,000	3,700	-300
① 小船橋水辺公園管理業務	1,909	2,039	130	④ 修繕費	3,300	3,100	-200
② 江川地区自然環境保全管理業務	7,490	10,010	2,520	⑤ 賃借料・リース料	1,320	2,497	1,177
③ 堆肥センター管理業務	113,472	111,610	-1,862	⑥ 共済掛金・保険料	1,930	2,769	839
(堆肥センター)	58,201	58,556	355	⑦ 麦田地賃借料	18,000	18,000	0
(もみ施設)	55,271	53,054	-2,217	⑧ 土地改良費・水利権	2,086	2,079	-7
④ 木野崎農業構造改善センター管理業務	2,782	1,798	-984	⑨ その他	5,706	3,230	-2,476
⑤ 尾崎地区自然環境保全管理業務	943	539	-404	(4) 小船橋水辺公園管理業務	1,752	1,871	119
⑥ はきだし沼	403	497	94	(5) 江川地区自然環境保全管理業務	6,871	9,165	2,294
⑦ コウノトリ飼育管理業務	22,392	23,481	1,089	(6) 堆肥センター運営業務	103,156	102,386	-770
⑧ 冬期湛水水田管理業務	534	534	0	(7) 尾崎地区自然環境保全管理業務	866	493	-373
⑨ 関宿落堀ピオトープ管理業務	571	608	37	(8) はきだし沼	369	456	87
⑩ 農業人材育成事業	20,468	22,716	2,248	(9) コウノトリ飼育管理業務	20,542	21,541	999
3 補助金収入	10,392	10,280	-112	(10) 冬期湛水水田管理業務	534	534	0
(1) 県補助金	6,632	6,600	-32	(11) 関宿落堀ピオトープ管理業務	524	558	34
(2) 市補助金	0	0	0	(12) 農業人材育成事業	18,080	20,378	2,298
(3) 農業人材育成事業	0	0	0	2 販売及び一般管理費	42,689	39,823	-2,866
(4) 転作定着化促進事業	0	0	0	(1) 木野崎農業構造改善センター 運営管理業務	2,552	1,650	-902
(5) 地上防除奨励金・薬剤購入補助金	3,760	3,680	-80	(2) 人件費等	30,559	27,895	-2,664
4 雑収入	13,800	13,800	0	(3) その他	9,578	10,278	700
補償料等(線下補償等)	13,800	13,800	0				
小計	245,197	245,162	-35	小計	298,164	292,771	-5,393
5 借入金	22,514	5,790	-16,724	3 退職金積立金	1,044	1,131	87
6 期首繰越現預金	63,510	73,707	10,197	4 機械等購入費	32,013	30,757	-1,256
小計	86,024	79,497	-6,527	小計	33,057	31,888	-1,169
合計	331,221	324,659	-6,562	合計	331,221	324,659	-6,562